

さくら



令和7年2月17日(月)

差別について考える

差別について考えてみましょう。差別の意味は、辞書では「差をつけて取りあつかうこと」「わけへだて」「正当な理由なく劣ったものとして不当に扱うこと」とあります。

もしあなたが、正当な理由無く劣ったものとして不当に扱われたらどんな気持ちになるでしょうか。とても嫌な気持ちになることでしょう。それどころか、とても心が傷ついてしまうことでしょう。そうであれば、皆さんは人を傷つけるようなことを言ったり、したりしてはいけないのです。

社会ではさまざまな差別があります。特定の地域出身の人に対する差別、障がいのある人に対する差別、国籍による差別、性差による差別など、多くの差別が存在します。

これらの不合理に対して、私たちは正しい知識を得るとともに、差別を許さない態度を身につけなければならないのです。そして差別をなくす行動をすることが大切です。

1 差別はなぜ起きる

◇ 偏見＝「偏った見方」

- ・特定のグループに属する人に、根拠なく否定的な感情や意見を持つこと。

◇ ステレオタイプ

- ・特定のグループに属する人に、固定されたイメージをもつこと。

◇ 差別について無知である

- ・差別について無知であるため、差別をしてしまう。

人の外見、性格、出身地、考え方などは皆違います。違いがあって当たり前であり、それぞれの違いに優劣はありません。

2 差別の例

◇ 言葉による差別

- ・見下す言葉を使う ・からかう言葉を使う ・不利益を与える言葉を使う

◇ 行動による差別

- ・仲間はずれにする ・意地悪をする ・不当な扱いをする

3 差別がもたらす影響

◇ 差別された人

- ・傷つく ・悲しい思いをする ・つらい気持ちになる ・自信を失う
- ・孤立する ・自分の居場所がないと感じる ・心身に不調をきたす

◇ 差別した人：

- ・周囲の人から信頼を失う ・罪悪感や後悔の念に苦しむ
- ・差別を助長する責任を負う。

4 差別をなくすためにできること

- ・差別について学び、正しい人権感覚を養う。・多様性を尊重する。→ 違いを認める。
- ・差別的な言動はしない。・差別されている人がいたら、声をかける、寄り添う。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

